

ヒトと動物の関係学会

第14回総会資料

総会議題

- 1号議案 2007年次事業報告
- 2号議案 2007年次決算報告
- 3号議案 監査報告
- 4号議案 2008年次事業計画
- 5号議案 2008年次予算
- 6号議案 新評議員について
- 7号議案 役員を選出について
- 8号議案 会長推薦理事および執行態勢について
- 9号議案 その他

日時：2008年3月23日（日）午後1時15分より

場所：東京大学農学部弥生講堂

< 1号議案 >

2007年次事業報告

1) 2007年12月31日現在の会員数 正会員 794名 名誉会員 5名
賛助会員・法人会員 17団体
(正会員は、会費滞納ない人数とする)

2) 学術大会の開催

第13回学術大会 東京大学農学部弥生講堂

大会実行委員長 太田恵美子

参加人数 257名* *印の参加人数は参加費納入者

2007年3月17日(土)・18日(日)

東京大学農学部弥生講堂

シンポジウム第一部「動物実験を考える」

座長 上野吉一

「動物実験とAnimal Rights」 一ノ瀬正樹

「脳研究の現場から考える」 泰羅雅登

「市民の目で見た／見えない動物実験」 野上ふさ子

シンポジウム第二部「日本とヨーロッパの動物観」

座長 若生謙二

「前近代ヨーロッパの動物観」 池上俊一

「なぜ『動物』だったのかーイギリス人の愛護意識再考」 井野瀬久美恵

「『現代日本人の動物観』ー伝統と愛情」 石田おさむ

一般演題 30題 ポスター演題 7題

3) 研究会の開催

2006年1月13・14日 第3回「学生、大学生のための学術発表審査会2006」

場所：関西地区 大阪ペピイ動物看護専門学校

関東地区 日本獣医生命科学大学医療センター

審査員：学術委員、編集委員など

発表演題：36演題

2007年2月17日 第53回月例会 「変わる動物園」広がる指定管理者制度

場所：東山動物園動物会館

講演者：原久美子、辻本恒徳、石田戢 司会：加藤由子

2007年4月21日 第54回月例会 「江戸の遊びに登場する動物」

講演者：青木宏一郎

2007年6月2日 第55回月例会 ヨーロッパ史における動物観の変遷
講演者：川上恵江

2007年6月30日 第56回月例会 ヒトはなぜ恐竜に魅かれるのか
講演者：本多成正

2007年8月4日 第57回月例会 世界屠畜紀行
講演者：内澤旬子

2006年12月2日 第58回月例会 「動物観研究会公開ゼミナール 2007」
場所：東京農工大学農学部・2号館

- ①「鶴見川流域における淡水魚とヒトとの関係」－形山浩子(和光大学大学院)
- ②「軍用動物慰霊碑に見る人と動物の関係」－依田賢太郎(東海大学医用生体工学科)
- ③「狩猟と皇族－雑誌『猟友』に見る動物をめぐる政治・科学・ジェンダー」
－瀬戸口明久(大阪市立大学経済学部)

特別テーマ「動物の擬人化」

- ④「戦後の日本マンガにおける動物擬人化の系譜と動物観」－細川博昭(慶応義塾大学)
- ⑤「擬人化の諸相」－大村仁美(帝京科学大学生命環境学部)
- ⑥「さまざまな動物の擬人化のかたち－江戸時代後期の絵画を中心として」
－藤岡摩里子(早稲田大学大学院)
- ⑦「動物理解における擬人化の有用性」－加藤由子(動物ライター)
- ⑧「精神疾患と動物：特に擬人化の視点から」－横山章光(帝京科学大学)
- ⑨総合討論「動物の擬人化」

4) 会議の開催

常任委員会 3/18,12/1

理事会 3/18

評議会 3/18

編集委員会 3/18,12/1

学術委員会 4/21,6/2,6/30,11/2

5) 学会誌の発行

第18号発刊	5月	1200部
第19号発刊	11月	1200部
動物観研究11号	5月	1200部
動物観研究12号	11月	1200部

6) IAHAIO の開催

JAHA(日本動物病院福祉協会)とナショナルメンバーとして、2007年10月5－8日に京王プラザホテルで行われた第11回IAHAIO(ヒトと動物の関係に関する国際会議)をサポートいたしました。

< 2号議案 > 2007年次決算報告

I、収入の部

科目	2007年度決算	2007年度予算	備考
一般・学生会費	3,362,500	2,750,000	
賛助・法人会費	910,000	750,000	
大会参加費	1,270,000	1,000,000	第13回学術大会 大会費、懇親会費
出版物売上	108,000	150,000	学会誌、予稿集
広告費・別刷費	834,215	1,000,000	
雑収入	272,500	136,556	シンポジウム、月例会等
預貯金利子	3,339		
当期収入合計	6,760,554	5,786,556	
前期繰越額	1,213,444	1,213,444	
収入合計	7,973,998	7,000,000	(当期収入合計+前期繰越額)

II、支出の部

科目	2007年度決算	2007年度予算	備考
学会誌印刷費	493,815	2,400,000	学会誌通巻18.19号
学会誌制作費	575,863	(印刷・制作費)	(動物観研究会を含む)
学会印刷費	317,200		封筒、パンフレット、振込用紙等
大会費	1,123,389	2,050,000	予稿集制作費、講演料、会場費等
シンポジウム・月例会費	544,705	(事業費・会議費)	講演料、会議費、IAHAIO関連
通信費	516,492		HP管理費、電話、インターネット
郵送費	370,600	850,000	
人件費	857,850	1,500,000	バイト代
事務用品費	109,160	(事務費)	
雑費	20,490	200,000	振込手数料
当期支出合計	4,929,564	7,000,000	

< 3号議案 >

監査報告

2007年1月1日から12月31日までの2007年次における会計および業務の監査を行い、内容について適正であると認めたと報告する。

2008年3月1日

監事 森下はるみ 印
務川 光彦 印

< 4号議案 >

2008年次事業計画（案）

1) 学術大会の開催

2008年3月22日（土）・23日（日）

東京大学農学部弥生講堂

シンポジウム第一部「広汎性発達障害とアニマルセラピー」

コーディネーター 横山章光（帝京科学大学アニマルサイエンス学科准教授）

座長 古荘純一（青山学院大学文学部教授）

演者

「イヌと広汎性発達障害」 梶島大輔（麻布大学大学院獣医学研究科）

「ウマと広汎性発達障害」 鈴木明子（綱島鈴木クリニック）

「イルカと広汎性発達障害」 辻井正次（中京大学社会学部准教授）

コメンテーター

竹花正剛（大阪コミュニケーションアート専門学校）

慶野宏臣（障害者乗馬レモンクラブ）

津田 望（のぞみ療育グループ代表）

シンポジウム第二部「ブタの生き方」

コーディネーター・座長 石田 戢（帝京科学大学）

演者

「東南アジアの日常におけるブタとイスラーム」 見市 建（岩手県立大学）

「アニマルウェルフェアから考えるブタと人の関係」 小針大助（茨城大学）

「ブタあれこれ」 正田陽一（東京大学名誉教授）

2) 研究会の開催

シンポジウム 1回（2008年11月京都を予定）

月例会 4回（2008年4, 6, 7, 9, 11月を予定）

学生審査会 1回（2007年1月 終了）

2008年1月12・13日 第4回「学生、大学生のための学術発表審査会2008」

場所：関西地区 大阪ペピイ動物看護専門学校

関東地区 日本獣医生命科学大学医療センター

審査員：学術委員、編集委員など

発表演題：24 演題

2008年2月16日 第59回月例会

人間とクジラの多様なつきあい方

講演者：粕谷俊雄

< 5号議案 >

2008年次 予算 (案)

収入の部		
繰越金		3,044,434
個人会費	学生 100 名 × 2500 円	
	一般 650 名 × 5000 円	
	計	3,500,000
賛助・法人会費		500000
広告費	(学会誌4回)	750000
学会誌等販売		50000
大会参加費		1,000,000
その他	(寄付・雑収入)	155566
	計	9000000

支出の部		
会議費		50,000
印刷・制作費	学会誌 4回	
	学生学術審査会 抄録	
	学術大会 抄録	
	計	3000000
郵送費		850,000
事務費		2000000
事業費		2500000
その他		600000
	計	9000000

< 6号議案 > 新評議員について

瀬戸口明久 (大阪市立大学)

大矢大 (ノートルダム清心女子大学)

竹花正剛 (大阪コミュニケーションアート専門学校)

太田光明 (麻布大学)

森祐司 (東京大学)

秋道智彌 (総合地球環境学研究所)

岩重慶一 (HAB 研究所)

増井光子 (よこはま動物園ズーラシア)

宮田勝重 (宮田動物病院)

森下はるみ

務川光彦 (東急エージェンシー)

松木洋一 (日本獣医生命科学大学)

新島典子 (東京大学)

黒鳥英俊 (多摩動物公園)

山口千津子 (日本動物福祉協会)

< 7号議案 > 役員を選出について

ヒトと動物の関係学会役員立候補者

ヒトと動物の関係学会会則施行規定第4条の規定により、太田会長の推薦によって常任理事会で決定され、平成19年9月1日に委嘱を受けた選挙管理委員の務川光彦、新島典子、三宅邦建をもって平成20年1月9日付けで会則第10条の規定による役員の立候補を募りました。2月7日当日消印有効の締め切り後、2月12日時点で以下の立候補があり、それぞれ定数であったことを確認し、ご報告します。

会長候補立候補者
以上1名

石田 戢(帝京科学大学)

理事候補立候補者

天野 卓(東京農業大学)
井本 史夫(井本動物病院)
大谷 伸代(麻布大学)
小川 博(東京農業大学)
奥野 卓司(関西学院大学)
加隈 良枝(帝京科学大学)
中島 定彦(関西学院大学)
福岡今日一(イードッグ研究所)
横山 章光(帝京科学大学)
若生 謙二(大阪芸術大学)
以上10名(50音順)

ヒトと動物の関係学会 選挙管理委員会

務川 光彦(東急エージェンシー)

新島 典子(東京大学)

三宅 邦建(九州保健福祉大学)

平成20年2月12日

理事会推薦監事候補

旗谷 昌彦 旗谷動物病院
加藤 由子 フリーライター

< 8号議案 > 会長推薦理事および執行体制について

平成20年3月23日

1 会長推薦理事

ヒトと動物の関係学会会則施行規定第10条の規定により、新会長の推薦によって推薦された理事9名は以下のとおりです。

会長推薦理事	伊谷 原一	京都大学
	汾陽 光盛	北里大学
	楠瀬 良	日本中央競馬会
	甲田 菜穂子	東京農工大学
	近藤 誠司	北海道大学
	谷田 創	広島大学
	津田 望	のぞみ牧場学園
	局 博一	東京大学
	細井戸大成	日本動物病院福祉協会

2 執行体制について (案)

副会長、事務局長、常任理事及び担当は以下のとおりとする。

副会長	天野 卓	東京農業大学
副会長 (事務局担当)	奥野 卓司	関西学院大学
事務局長	若生 謙二	大阪芸術大学
常任理事 (学術担当)	横山 章光	帝京科学大学
(編集担当)	伊谷 原一	京都大学
(財政担当)	井本 史夫	井本動物病院
(国際担当)	大谷 伸代	麻布大学

< 9号議案 > その他

来年の大会は、東京大学農学部弥生講堂にて、3月7・8日